



プローブ要求フォーワーディングの設定

- 機能情報の確認, 1 ページ
- プローブ要求フォーワーディングの設定について, 1 ページ
- プローブ要求フォーワーディングの設定方法 (CLI) , 2 ページ

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリース ノートを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

プローブ要求フォーワーディングの設定について

プローブ要求は、Service Set Identifier (SSID) の機能に関する情報を要求するためにクライアントによって送信される 802.11 管理フレームです。デフォルトでは、アクセス ポイントは応答済みの (acknowledged) プローブ要求をスイッチが処理できるよう送信します。応答済みの

(acknowledged) プローブ要求とは、アクセス ポイントがサポートする SSID のプローブ要求です。必要に応じて、応答済みの (acknowledged) プローブ要求および未応答の (unacknowledged) プローブ要求の両方をスイッチにフォワードするようアクセスポイントを設定できます。スイッチは応答済みの (acknowledged) プローブ要求からの情報を使用してロケーションの精度を向上できます。

プローブ要求フォワーディングの設定方法 (CLI)



(注) スイッチ GUI を使用してこのタスクを実行する手順は現在利用できません。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **wireless probe filter**
3. **wireless probe filter num_probes interval**
4. **end**
5. **show wireless probe**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wireless probe filter 例： Switch(config)# wireless probe filter	アクセス ポイントからスイッチに転送されたプローブ要求のフィルタリングをイネーブまたはディセーブにします。 (注) デフォルトのフィルタ設定であるプローブフィルタリングを有効にすると、アクセス ポイントは応答済みの (acknowledged) プローブ要求のみをスイッチに転送します。プローブフィルタリングを無効にすると、アクセス ポイントは応答済みの (acknowledged) プローブ要求と未応答の (unacknowledged) プローブ要求の両方をスイッチに転送します。
ステップ 3	wireless probe filter num_probes interval 例： Switch(config)# wireless probe filter 5 5	指定された間隔のアクセス ポイント無線ごとにクライアント単位でスイッチに送信されるプローブ要求の数を制限します。このコマンドで次の引数を指定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • num_probes : 指定された間隔のアクセス ポイント無線ごとにクライアント単位でスイッチに転送されるプローブ要求の数。範囲は 1 ~ 100 です。 • interval : ミリ秒単位のプローブ制限間隔。範囲は 100 ~ 10000 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<p>end</p> <p>例： Switch(config)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。</p>
ステップ 5	<p>show wireless probe</p> <p>例： Switch# show wireless probe</p>	<p>詳細なプローブ要求の設定を表示します。</p>

